

そ の 他

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	選挙啓発事業		決算書頁	172
分野	07 その他			
所管室・課	選挙管理委員会事務局	作成者	主幹 清瀧 公三	

2. 事業の目的

平常時において選挙の重要性等を啓発し投票率の向上や明るく公正な選挙の推進を図る

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	22年度	21年度	比較	財源	22年度	21年度	比較	
	総事業費	308	356		△ 48	一般財源	308	356
内訳	事業費	308	356	△ 48	国県支出金			0
	職員人件費			0	地方債			0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
	職員数(人)			0	特定財源(その他)			0
参考	再任用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

<細事業1>	選挙啓発事業	細事業事業費	308
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	有権者		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要	<p>政治講座を開催し、政治・選挙への関心を高める。</p> <p>市内、小・中学校の児童・生徒を対象に選挙啓発ポスターを募集し、若年層の政治・選挙に対する意識を高める。</p> <p>啓発物資を作成・配布し、選挙意識の向上を図る。</p>		

5. 事業の成果

22年度に2回開催した政治講座において約146名の参加があり、講師の講演を通じて参加者への政治・選挙に対する興味・関心の向上が図れた。また、啓発ポスターの募集については、市内小・中学校の児童・生徒を対象に啓発ポスターを募集した結果合計48点もの応募があり、優秀作品を表彰及び県選管へ提出するなど、若年層に対する政治・選挙に関する意識付けとした。さらに常時啓発については、選挙啓発冊子の活用や標語入りカレンダーを8,000枚作成し、成人式での配布や各行政センター窓口などに配置することにより、正しい選挙のルールへの浸透に努めた。

選挙啓発事業は、その効果が見えにくく、地道ではあるが継続することに努めたいと考えている。

直近の選挙	投票率	21年度の選挙	投票率	22年度の選挙	投票率
平成19年7月29日執行 参議院議員通常選挙(選挙区)	59.95%	平成21年8月30日執行 衆議院議員総選挙(小選挙区)	68.82%	平成22年7月11日執行 参議院議員通常選挙(選挙区)	58.93%
平成19年4月8日執行 兵庫県議会議員選挙	39.83%	平成21年7月26日執行 川西市農業委員会委員選挙	無投票	平成22年10月17日執行 川西市長選挙 川西市議会議員選挙	市長選挙 55.49% 市議選挙 55.50%
平成18年10月22日執行 川西市長選挙 川西市議会議員選挙	59.02%	平成21年7月5日執行 兵庫県知事選挙	34.72%		

6. 事業の評価(この評価は、各細事業の個別課題を抽出して行ったものです。)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)
評価者 担当部長	9・8点:A 7・6点:B 5~3点:C	【「検討余地あり」「改善すべき」と評価した点】 ・公正な選挙の推進について効率的な手法がないか検討する余地がある。 ・投票率は、選挙啓発のみで効果を評価できないことから有効性を検討する余地がある。		

7. 担当部長が考える今後の方向性、見通し等

拡充

継続

縮小

事業全体の課題や評価を踏まえた改善策、今後の見通しについて

《参考》平成21年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

近年の政治・選挙離れは著しく、特に若年層の政治への関心の薄さは、当市のみならず全国的な課題となっている。

したがって、将来有権者となる世代に選挙への関心を深めてもらうために昨年度と同様に生徒会選挙などに選管が所有している投票箱、記載台などを貸与できることを小・中学校に周知するとともに、阪神間7市1町や県の事業も参考にしながらより効果的な啓発事業に取り組む。

選挙啓発事業としては、これまでの活動を継続したいと考えている。特に若年層が選挙に関心を持ってもらえるよう小・中学校などに働きかけ生徒会の選挙などに投票箱、記載台などを貸与し、実際に選挙を体験してもらうことにより選挙への関心を高めてもらえるよう努めていきたい。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	アスベスト含有調査事業	決算書頁	366
分野	07 その他		
所管室・課	都市整備部 営繕課	作成者	課長 野村 徹

2. 事業の目的

公共施設の適正な維持管理のため、一般施設のアスベスト含有調査を実施する
--

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	22年度	21年度	比較	財源	22年度	21年度	比較
	総事業費	300			300	一般財源	0
内訳	事業費	300	300	国県支出金	300		300
	職員人件費		0	地方債			0
	公債費		0	特定財源(都市計画税)			0
参考	職員数(人)		0	特定財源(その他)			0
	再任用職員数(人)		0				

4. 事業目的達成のための手段

(単位:千円)

〈細事業1〉	アスベスト含有調査事業	細事業事業費	300
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	施設を利用する市民及び職員が対象		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)			
(3)概要	<p>・従来国内では使用されていないとされていた3種類のアスベスト(トレモライト、アンソフィライト、アクチノライト)が実際に使用されていたことが発覚したことにより、新物質に対する分析調査を25施設28箇所について実施した。</p>		

5. 事業の成果

分析の結果、下記の表のとおり含有されていなかった。

施設番号	施設名	室名	調査対象箇所	使用材料	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
1	ふれあいプラザ	1階空調機械室	壁	吹付ロックウール	含有せず	含有せず	含有せず
2	分庁舎	1階機械室	壁	吹付パーライト	含有せず	含有せず	含有せず
3	身体障害者通所授産施設	階段裏	天井	吹付パーライト	含有せず	含有せず	含有せず
4	一の鳥居老人福祉センター	ボイラー室(別棟)	壁	吹付ロックウール	含有せず	含有せず	含有せず
5	久代老人児童センター	機械室	壁	無機質繊維吹付	含有せず	含有せず	含有せず
6	保健センター	階段裏	天井	吹付パーライト	含有せず	含有せず	含有せず
7	川西市斎場	設備機械室(3)	壁	岩綿吹付	含有せず	含有せず	含有せず
8	北部処理センター	油圧ユニット室	壁	ロックウール吹付	含有せず	含有せず	含有せず
9	南部処理センター	機械室	壁	吹付ロックウール	含有せず	含有せず	含有せず
10	水明台汚水ポンプ中継所	自家発電室	壁	吹付ロックウール	含有せず	含有せず	含有せず
11	前川ポンプ場	階段裏	天井	ミクライト	含有せず	含有せず	含有せず
		機械室	壁	トムレックス25mm饅押さえ	含有せず	含有せず	含有せず
		送風機室	天井	トムレックス25mm吹付	含有せず	含有せず	含有せず
12	栄南団地 2	ペントハウス	天井	ロックウール吹付	含有せず	含有せず	含有せず
13	栄南団地 1	受水層室	天井	ロックウール吹付	含有せず	含有せず	含有せず
14	絹延団地 1号棟	台所	天井	パーライト吹付(ネオパールスキン)	含有せず	含有せず	含有せず
15	新生団地 (1期)	D・K	天井	パーライト吹付(ネオパールスキン)	含有せず	含有せず	含有せず
16	花屋敷団地 E棟	洋室	天井	パーライト吹付(ネオパールスキン)	含有せず	含有せず	含有せず
17	花屋敷団地 F棟	D・K	天井	パーライト吹付(ネオパールスキン)	含有せず	含有せず	含有せず
18	栄町団地 H棟	玄関、洋室	天井	パーライト吹付(ネオパールスキン)	含有せず	含有せず	含有せず
19	小戸団地	浴室	天井	パールスキン吹付	含有せず	含有せず	含有せず
20	鶴寿会館	機械室	壁	ロックウール吹付	含有せず	含有せず	含有せず
21	川西南公民館	機械室	壁	吹付ロックウール	含有せず	含有せず	含有せず
		ロビー	天井	パーライト吹付	含有せず	含有せず	含有せず
22	多田公民館	階段室	天井	パーライト吹付(パールスキン)	含有せず	含有せず	含有せず
23	東谷公民館	廊下	天井	パーライト吹付	含有せず	含有せず	含有せず
24	市民体育館	自家発電室	壁	吹付ロックウール	含有せず	含有せず	含有せず
25	生涯学習センター	階段室	壁	パーライトモルタル吹付	含有せず	含有せず	含有せず

6. 事業の評価(この評価は、各細事業の個別課題を抽出して行ったものです。)

自己評価 評価者 担当部長	A	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)
9・8点:A 7・6点:B 5～3点:C		【「検討余地あり」・「改善すべき」と評価した点】		

7. 担当部長が考える今後の方向性、見通し等

拡充

継続

縮小

事業全体の課題や評価を踏まえた改善方策、今後の見通しについて

《参考》平成21年度決算成果報告書に記載した今後の方向性、見通し等

・結果的に含有されていないことが判明したので問題なし。

平成22年度決算成果報告書

平成23(2011)年9月発行

発行 川 西 市

編集 総合政策部財政室
総合政策部政策推進室

〒666 - 8501

兵庫県川西市中央町12番1号

TEL 072 - 740 - 1111

この冊子は、200部作成し、1部あたりの単価は約1,733円です。